

63号
2024.11

清田区 社協だより

Kiyota-ku Shakyo Dayori

毎月3日は
見守り訪問の日



親子ボランティア講座

初めての
高齢者
疑似体験



親子で
石鯨づくり
体験



最後に
みんなで
記念撮影!



7月30日(火)に北海道コカ・コーラボトリング株式会社様にて「親子ボランティア講座」を開催しました。

当日は、12組28名の参加があり、前半はSDGsに関する講話と石鯨づくり体験を行い、後半では高齢者疑似体験セットを用いて高齢者体験を行いました。

約2時間という短い時間ではありましたが、参加いただいた方全員が楽しみつつも福祉に触れるいい機会になりました。

今回体験した内容を、お友達や兄弟にもお伝えいただき、若い世代が福祉に関心を持つきっかけとなればと思います。

もくじ Contents

- ★町内会探訪記 VOL.42 P2
- ★クイズ
『清田区で活動している団体から』 VOL.11 P3
- ★「地域活動が、誰かの“業”になる？」
清田区福祉のまち推進センター 活動交換会
..... P4～5
- ★小学校で「車いす体験」を実施!
- ★「ふくし」を学ぶお手伝いをいたします!
～福祉教育 出前講座のご案内～ P6
- ★清田区共同募金委員会から
街頭募金運動の実施報告です P7
- ★愛情銀行への寄付のお礼、
賛助会員のご紹介 P8

町内会探訪記

VOL.42



谷橋 泉 会長

平岡地区 平岡雪割草町内会

世帯数…147 世帯



▶町内会の概要

平岡雪割草町内会は平成5年(1993年)にスタートし、昨年で30年を迎えました。

世帯数も町内会発足当初は61世帯でしたが、現在は147世帯へと増加しています。

この町内会は若い世帯が多いことも特徴の一つで、「新年もちつき大会」や「夏休みラジオ体操」は子どもから高齢者まで多くの方が参加されています。



新年もちつき大会

▶町内会の高齢者支援活動について

昨年度、清田区社会福祉協議会から見守り活動について教わり、今年の4月から定期総会を経て見守り活動をスタートしました。

見守り活動の対象は75歳以上の独居高齢者としています。

訪問の希望がある方については訪問し、そうでない方については、外からポストに新聞がたまっていないか、部屋の電気が点いたままになっていないかといった外から見守りをしています。

また、見守り活動の他に「敬老記念品贈呈行事」と「シニア交流会」を実施しています。

敬老記念品贈呈行事は、75歳以上を対象にして実施しており、昨年から8名対象者が増えたことから今後も年々増加してくるのではと考えています。

シニア交流会は65歳以上を対象としており、コロナ禍は中止しておりましたが、令和5年度から復活しました。

シニア交流会は普段町内会と関わる機会が少ない方と関わったり、地域での孤立を予防したりといった目的で実施しておりますが、町内会館がないため開催方法に苦慮しています。



夏休みラジオ体操

▶今後の取り組みについて

この町内会を「普通にお互いを気に掛け合い、助け合えるような町内会」にできたらと思います。

また、町内会役員の手不足していることから、誰か一人が負担を背負わないよう、役割分担を行い、最終的には誰がどの役員になっても大丈夫になればと思います。



Q クイズ 清田区で 活動している団体から

VOL.11

「札幌国際大学 園芸療法部門」の活動からの出題

札幌国際大学では、大学の敷地内にある庭を活用し、園芸療法に取り組まれています。この庭は、園芸療法士資格取得を目指す学生たちが学びながら管理されているもので、さまざまな方が気軽に訪れ、癒されくつろげるガーデンであり、園芸療法を体験できる場として、地域と大学をつないでいます。

その中で、園芸療法士資格を有している学生がいる准教授の吉崎俊一郎氏のゼミ生には、園芸療法の一環として、本会に依頼のあった地域での園芸に係る生活支援ボランティア活動へご協力いただいています。

活動のご紹介

今年度、清田区内において、20件のボランティア活動に取り組んでいただきました。庭の草取りや草刈り、庭木の剪定など、おおむね1時間で活動できる範囲としています。

活動中や活動終了後には、ご依頼者とのコミュニケーションも図っており、若い世代との交流に大変喜ばれています。学生からのアンケートにもご協力いただきました。

園芸療法とは...

園芸（ガーデニング）を通じて、心身に何らかの障がいを持つ人々の機能回復や症状の改善を援助したり、また、日常的な生活の中の不安や緊張を緩和し心理的安定を促進しようとするものです。

草取り



アンケートの様子



草刈り



剪定



【問題】 下記の○に入る言葉は何でしょうか？

札幌国際大学の園芸療法で活用している「○○○○○○ガーデン」は、地域の方が集まることでコミュニティーを広げ、居場所づくりができる憩いの場。あちこちに花や緑による工夫がこらされており、車いすの方やお子さんでも楽しみながら鑑賞できます。

答えは、この記事に掲載するホームページ内にてお知らせします。



地域活動が、誰かの“薬”になる？

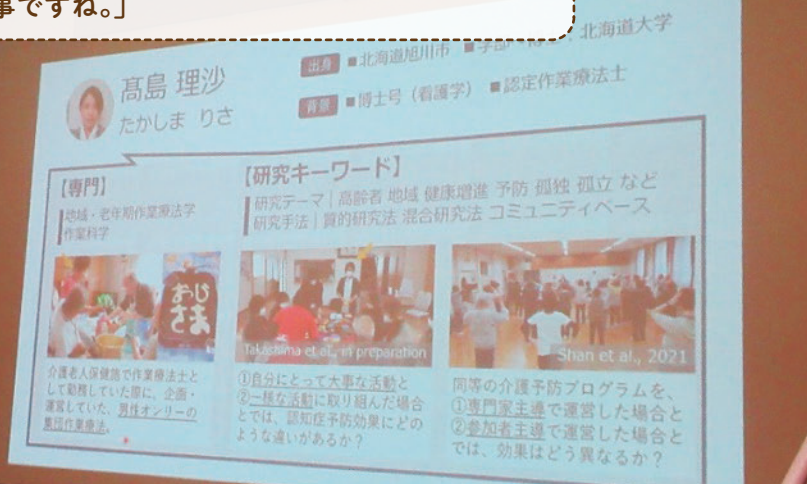
清田区福祉のまち推進センター

活動交換会

「地域活動が誰かの薬になるという言葉が刺さりました！」
 「地域のつながりが、健康寿命を延ばすことのひとつであることに気づきました。」
 「地域の活動の可能性について、多くのことを学びました。結論ありきの活動から脱皮し、各自の持つ発送や魅力を引き出すことが大事ですね。」

講演に対する
参加者からの声
(アンケート結果からの抜粋)

- と き：令和6年8月19日（月）
13：30～15：30
- と ころ：清田区民センター 大ホール
- 参加者：137名



前半 講演 「地域活動の可能性と魅力を再発見 ～地域の居場所づくりと担い手不足の解消のヒント～」

◆講師：北海道大学大学院保健科学研究院 リハビリテーション科学分野 講師 高島 理沙さん

講師の高島さんからは、主に3つのポイントに即したお話がありました

1つ目、つながりと健康との関連

- つながりの喪失は、健康のリスク(死亡率への影響あり)
- 地域活動が誰かの「薬」になる時代が来る！（医師の薬の処方のように頼らない）

2つ目、新しい居場所づくり

- 地域活動にあまり関わってこなかったシニア層（特に男性）が主体的に活躍する場がどのように生まれてきたのかのプロセスを紹介（「ポッケコタン」のあり方について）

3つ目、担い手不足解消のヒント

- 担い手発掘のための視野を広げてみる（個々の興味に基づいた提案による潜在的担い手発掘）
- ニーズ（必要性）を再確認して活動を見直す（活動の原点の問い直しが求められる）
- 会議は、誰も結論がわからない状態で行うこと（結論ありきの協議を行わない留意が必要）



今年度の福祉のまち推進センター活動交換会は、2部構成で行われました。前半は、北海道大学の先生からの講話。後半は、地域のサロンの代表者からの報告となりました。各アンケート結果の声に代表されるように、参加者にとって大変、有意義な機会となりました。

後半 「美しが丘団地自治会 ライラックサロン」活動紹介(概要)

◆発表者：美しが丘団地自治会ライラックサロン 代表 進藤 忍さん

報告者の進藤さんからは、下記のような話を頂きました

里塚・美しが丘地区で開催されているサロン「ライラックサロン」は、美しが丘団地や周辺にお住まいの高齢者の閉じこもり防止と介護予防のための集いの場として、毎週水曜日、午後2時から午後3時までの間で開催されています。

令和5年7月より、月1回のすこやか倶楽部としてスタートしましたが、参加者の希望もあり、サロンとして週1回のペースで継続的に開催されています。



活動内容としては、専門職による健康体操を30分ほど行った後、サロン代表や参加者が用意する脳トレをみんなで行ったり、コーヒーやお茶菓子を用意しながらお互いの近況報告を行います。たまに手作りのお菓子が出る時もあります。

こうした取り組みは、参加者のコミュニケーションの活性化や健康増進、また、見守り活動の充実にもつながります。



ライラックサロンでは、「明るく、楽しく、気軽に」をモットーにしており、参加者の方々からも、「退屈しない」、「おしゃべりが楽しい」、「ほかの皆さんがどう過ごしているのか知ることができる」等の好評の声が上がっています。

「コロナ明けで、ここまで取り組めた事例を知れてよかったです！」
 「参加者を集めるために日々の活動、大変、ご苦労されたかと思えます。日頃からの住民さんとの関係を築く事の大切さを学びました。」

活動報告に対する
参加者から声
(アンケート結果からの抜粋)



小学校で「車いす体験」を実施!

清田緑小学校からの要望を受け、区内の福祉関係機関が学校を訪問し、4年生92名(3クラス)に「車いす体験」を実施しました。

介護予防センター職員から注意点を説明し、実際に体験がスタート。車いすの押し方、乗り方、ブレーキのかけ方などの基本操作や段差の乗り越え方、方向転換などを体験してもらいました。自分で操作する大変さ、車いすを押し大変さ、安心して乗ってもらえる工夫など体験できたのではないのでしょうか。

このメンバーで お手伝いしました。

- 清田区保健福祉部
- 清田区第2地域包括支援センター
- 清田区介護予防センター-清田中央
- 清田区社会福祉協議会
- 民生委員・児童委員、主任児童委員



「ふくし」を学ぶお手伝いをいたします!

～福祉教育 出前講座のご案内～

「高齢になったら、体が動きづらくなる大変さを理解する」「障がい者に対する理解を深める」など、体の不自由な人のことや認知症のこの学びをとおして、支援を必要としている人の気持ちを考え、さりげなく支援できる「思いやりの心」を育むお手伝いをいたします。



【主なメニュー】

高齢者・障がい者 疑似体験

高齢者・障がい者体験セットの着用、車いすやアイマスクを使用して、生活場面を想定しながら、高齢者や障がい者の気持ちを理解し、相手の立場になって行動できる心を学びます。

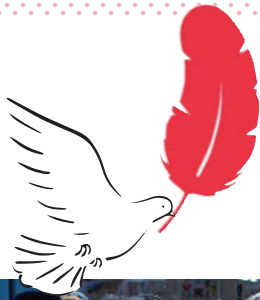
認知症サポーター 養成講座

認知症という「病気」や「認知症になった方との接し方」などについて、正しく理解し、身近なこととしてとらえ、支援の大切さを学びます。

社会福祉協議会では、福祉講座の企画や講師の紹介などを行っています。学校の総合学習に限らず、企業・団体、町内会、サークルからのご相談もお待ちしております。お気軽にご相談ください。

【お問い合わせ先】 清田区社会福祉協議会 電話：889-2491





たくさんのご協力ありがとうございました!

清田区共同募金委員会から 街頭募金運動の 実施報告です



今年も10月1日～6日まで、赤い羽根共同募金街頭募金活動を実施いたしました。

老人クラブ、民生委員・児童委員協議会、保護司会、高校など30団体(延べ182名)の皆さまにご参加いただき、区内9カ所の店舗前等で呼びかけを行っていただきました。

皆様からたくさんのおたがひご協力をい

ただき、清田区では **256,626 円** の募金が集まりました。

皆様から寄せられた募金は、各地区での行事や高齢者の見守り活動など地域福祉の推進や、学校での福祉教育、災害時の支援などに役立てられています。

街頭募金活動並びに赤い羽根共同募金にご協力いただきました皆様、ありがとうございました。



募金箱設置についてのお願いです!



清田区共同募金委員会では、**募金箱を設置して頂けるお店や団体を募集しています。**募金箱の設置場所を増やすことで、共同募金運動へのご参加を広げたいと考えています。社会貢献の一環としてご協力いただける店舗や企業・団体様につきましては、下記までお問合せください。

新規で
「清田区役所食堂」
(平岡1条1丁目)の券売機横
にも募金箱を置かせて
いただいています!



●お問合せ・連絡先

清田区共同募金委員会
(清田区社会福祉協議会内)

〒004-8613

札幌市清田区平岡1条1丁目2-1 清田区総合庁舎3階

TEL. 889-2491 【担当】土本

毎月3日は見守り訪問の日





あたたかいご寄付ありがとうございました

☆令和6年度☆～愛情銀行への寄付紹介～

(令和6年7月1日～9月30日現在)

・匿名 7,220 円

・コストコホールセールジャパン 様

子ども用文具やお菓子等寄付をいただきました。いただいた物品は、清田区内子ども食堂、児童福祉関係の施設等に寄付させていただきました！



コストコホールセールジャパン様からのご寄付

令和6年度賛助会員へご加入いただきありがとうございます。

本会の賛助会員として加入いただきました皆さまをご紹介します。
この会費は、本会事業の財源として、清田区内の地域福祉活動に役立てています。

「**団体会員**」～1口:10,000円から～ (令和6年7月1日～9月30日現在)

- こもれびの街町内会 様
- 清田区保護司会 様

「**個人会員**」～1口:1,000円から～ (令和6年7月1日～9月30日現在)

- 田崎 克文 様
- 後藤美智子 様
- 澤田 和志 様
- 猪野毛昭男 様
- 市谷 幸喜 様
- 伊藤 昭夫 様

社会福祉法人 札幌市社会福祉協議会

やさしさをしごとに / ホームヘルパー募集中

初任者研修受講費用
キャッシュバック
制度有 (要件有)

ライフスタイルに
合わせた働き方が
可能

研修・記録・移動等の
諸手当が充実

私たちと一緒に
はたらきませんか!

札幌市社会福祉協議会 白石・厚別・清田ヘルパーセンター
札幌市厚別区大谷地東2丁目4-1 交通局本局庁舎6階 電話: 011-896-9610



発行

札幌市清田区社会福祉協議会

〒004-8613 札幌市清田区平岡1条1丁目 清田区総合庁舎3階
TEL 889-2491 FAX 889-2492

この「清田区社協だより」は、赤い羽根共同募金の配分金の助成を受けて発行しています。



毎月3日は 見守り訪問の日

